

～冬の渡り鳥がやって来ました！！～

鳥インフルエンザに備えましょう！

ウイルスはカモやハクチョウなどが運んできます

- インフルエンザウイルスの故郷はカモ類の腸の中
- 夏季、シベリアなどに世界各地のカモ類が大集合
- 営巣地や渡りの中継地点でウイルスが再集合
- 新しいウイルスが誕生し、世界中に拡散
- 日本(長野県)にもやって来る可能性大いにあり
- カモ類・水辺の鳥⇒猛禽類が捕食
- カモ類や猛禽類の糞⇒野鳥や野生動物⇒鶏舎(家きん)



地球規模でのインフルエンザウイルスの動き(例)

対策のポイントは「4つのない」

➤ ネズミやスズメなどを入れない

鶏舎の隙間や網の破れ等をチェックし、修理をしましょう

➤ 野鳥や野生動物を近づけない

野鳥や野生動物が近づかないように、死体は処理するまで密閉容器等に保管し、鶏舎周囲に食べ物が無いよう清掃、整頓をしましょう

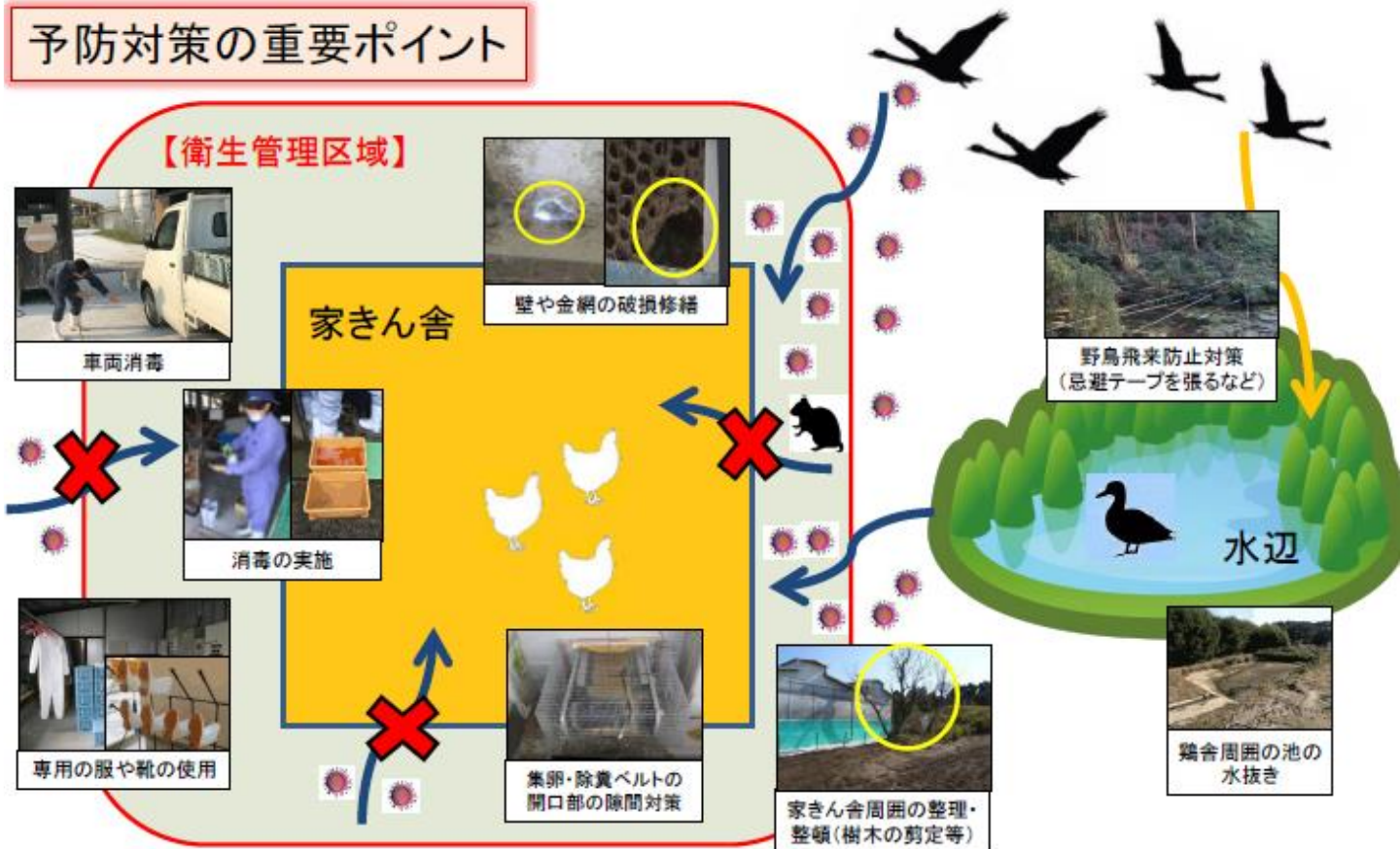
➤ 車、人、餌、水を介して持ち込まない

農場内に入れるものは、消毒、履き替え等により、ウイルスを持ち込まないようにしましょう

➤ カモやハクチョウの飛来地に近づかない

ウイルスがいる可能性のある場所への訪問は控えましょう

予防対策の重要ポイント



- ①人・物・車両によるウイルスの持込み防止
- ・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
 - ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用
 - ・上記措置の記録

- ②野生動物対策
- ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕
 - ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓
 - ・上記措置の定期点検

周辺に水辺のある農場は①、②の予防対策を徹底

(リスクを減らす取組(季節を限って水を抜く、野鳥を寄せ付けないよう忌避テープを張るなど)が効果的)